

福井県議会におけるICT化推進

新型コロナウイルス感染症拡大時や災害時の業務継続性保持、業務効率化等の観点から、行政等各分野においてデジタル化が推進

福井県議会においても・・・

以下の観点から 議会のICT化を推進

- (1) 議員・議会局双方の活動や業務の効率化・高度化
- (2) 緊急時における議会機能維持
- (3) 議会情報への県民のアクセシビリティ向上

令和2年度から、議会改革検討会議やワーキンググループで検討

- ・ 令和4年度9月定例会から全議員にタブレット端末を貸与
- ・ 会議資料のペーパーレス化、オンライン委員会、外出先等でのメール・チャットの利用、議会棟Wi-Fiの整備・運用を開始
- ・ Facebook上で福井県議会に関する情報を発信(R3.8月～)

ICT化に向けた環境整備・準備

◇6月定例会において、議会基本条例および委員会条例の一部を改正し、オンライン形式による委員会の開催を可能とする条件や必要となる機器を整備

福井県議会基本条例(本会議)

福井県議会運営要綱(議会運営委員会)

議会運営に係る申合せ(議会運営委員会)

福井県議会委員会条例(本会議)

オンライン委員会運営要綱(議会運営委員会)

福井県議会タブレット端末管理要領(議会局)

◇議員研修会を開催

- 9月定例会前(8月末)…習熟度別の研修会
- 12月定例会前(11月上旬)…希望者を対象としたフォローアップ研修



ICT化のポイント

◇資料のペーパーレス化

本会議、委員会、各派代表者会議等の協議等の場、各党派会議等、すべての会議の資料について、タブレット端末を使用してデジタルで閲覧

《アプリケーション》 moreNOTE



◇オンライン委員会等

委員会や協議等の場は、オンラインでの参加が可能

委員会…“感染症のまん延”“大規模災害の発生”“育児・介護等”の理由により、委員会の開催場所への参集が困難であると委員長が認める場合に参加が可能

協議等の場…招集者の判断で弾力的に運用



◇議員と議会局・理事者との連携強化

議員と議会局・理事者との連絡は、タブレット端末のメールに統一（Outlook）

議員と議会局が共通のメールやチャット等を活用することにより、円滑な連絡体制を構築

《アプリケーション》 Microsoft365



令和4年度9月定例会の様子（本会議）

◇本会議（代表質問・一般質問）

発言者がタブレットに格納した原稿を読みながら端末を操作

発言者以外の議員・知事等の理事者はタブレット端末で、議事日程や発言者の補助資料などを確認



代表質問の様子



一般質問の様子

令和4年度9月定例会の様子（常任委員会）

◇常任委員会

各部長等からの部長報告や理事者説明資料等を、タブレット端末に格納するとともに、委員はタブレット端末のペーパーレス会議システムで資料を閲覧

令和4年度は紙資料と併用。令和5年度は今年度の状況を踏まえて検討



常任委員会の様子

オンライン委員会（予算決算特別委員会）

◇11月17日（木）の予算決算特別委員会総括審査において、福井県議会で初めて、オンライン形式で委員会を開催。

委員会への参集が困難な議員1名がオンラインで出席し、令和3年度の決算議案の認定について採決。



審議の様子



議案の採決

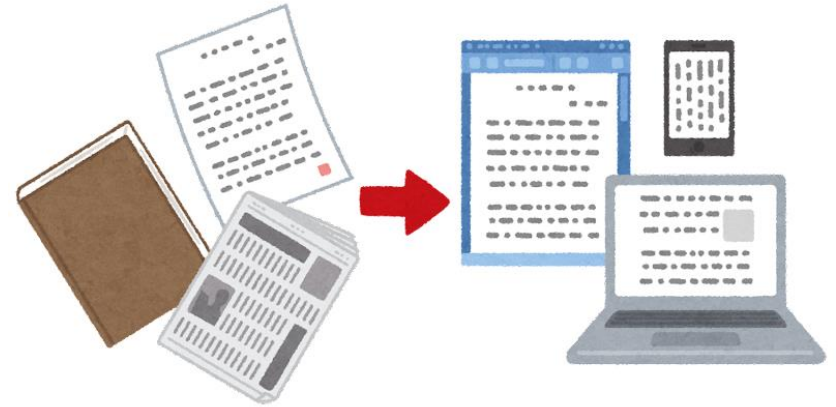
導入の効果

(1) 紙の削減

1 定例会で約2,000枚

年間 約10,000枚

(年間で約100万円の削減効果)



(2) 全議員が議会局と共通のコミュニケーションツール（メール等）を活用

全議員にOutlookメールのアドレスを配布

- ・メール連絡のほかスケジュール調整にも活用
- ・メール、チャット、議員用サイトの活用について目的別の目安を作り、議員・議会局双方の業務を効率化・高度化

